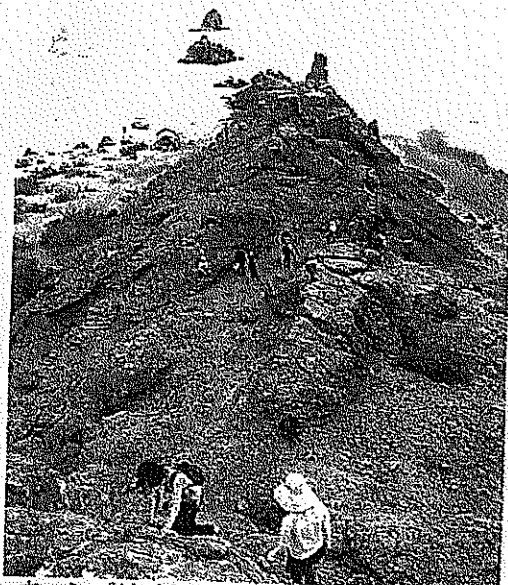


# 2泊3日のエコ観光 自然の驚異目の当たり



キャンプサイトの裏側の山歩き。島の歴史や植生の固有種などについて説明を受ける

## ラパス山便り

鳥大シキリ山外実習教育カリキュラム

日本海②

日置 佳之

ラパスでの実習も3

週間目に入り、私たち環境について学ぶ前は2泊3日のエコツアー光を、ラパス市街からリズム（環境に配慮した小型船で約1時間の

「Espiritud 礁に上陸しない」など Santol 島（スサマ）まな規則がある。学生はなせその意で行った。た規則が必要かを実地で学んだ。

ここは細霧のホルテで学んだ。

ス海に浮かぶ島で、生 午後は馬でのハイキ物の固有種が多いこと、ンクとカヤックでの遊から世界自然遺産に登出に挑戦した。ガラカ録されている。まず初ラハヒに注意して歩い日にシヌノーケリングたり、波で転覆した場とカヤック（カヌーの合のカヌーの復旧方法一種）の練習をして、も必須事項として実習エコツアーに必要な手した。

段について最小限の技 最終日は思わぬ大雨。普段は陸水のない術を身につけた。

2日目はカリフォル 乾燥地の島に多数の滝ニアシカの大繁殖 がかかり、自然の驚異地になっている岩礁を目の当たりにする体へ。シヌノーケリング 験で難を閉じることがでアシカの観察を行っできた。

た。ここではアシカに （鳥取大学農学部付悪影響を与えないため 属フィールドサイエンに「決められたアイン スセンター）

船を停泊させる」「岩